

## 第3回高知家子どもの虐待防止推進セミナー 概要報告

- 1 開催日 令和元年11月19日(火) 10:30~16:00
- 2 会場 高知県立ふくし交流プラザ 5階研修室A
- 3 セミナー日程

講演①「市町村に期待されている役割とは何か？」(90分)

講師 伊藤 徳馬 氏

(神奈川県茅ヶ崎市福祉部福祉政策課 課長補佐)

講演②「明石市での関係機関や地域との連携」(90分)

～児相をこども家庭支援の拠点として～

講師 佐野 洋子 氏

(兵庫県明石市こども局 局長兼明石こどもセンター所長)

テーマディスカッション (70分)

テーマ「地域の連携 ～子どもと家庭を守るためにできること～」

助言者 伊藤 徳馬 氏 ・ 佐野 洋子 氏

- 4 参加者数 105名(終日参加98名)

市町村・市町村教育委員会 28名、県・県教育委員会 41名、保育所 2名、  
児童福祉施設等関係者 11名、医療関係者 1名、警察関係者 7名、  
法曹関係者 5名、民生児童委員等地域の支援者 9名、他県からの参加者 1名

## 5 概要

### (1) 講演①「市町村に期待されている役割とは何か？」

市町村に求められる役割について、茅ヶ崎市の具体的な取組紹介や虐待予防の効果を絵で示すなどし、参加された地域の支援者にとっても分かりやすい講演内容であった。

日常業務、日常活動において予防的な対応がいかに重要であるかについて、青いつぶつぶのイメージ図を用いて支援のあり方を示唆いただき、さらに、要対協において目的に合った動きをするためには言葉で共通理解を作ることが大切であること、その基礎となる関係性づくり、当事者性を重んじること、などを学んだ。

前向き青カードを使った肯定的な言葉がけについての講師からのご提案や、演習を織り交ぜてのお話は、子どもや保護者と接する際にすぐにでも活用できるものであった。

講演全体を通じ、これからの本県の取組活動に向けて、多くの示唆をいただいた。



## (2) 講演②「明石市での関係機関や地域との連携」～児相をこども家庭支援の拠点として～

市政として打ち立てた明確なビジョンのもと体系立てた子育て支援の様々な取組について、丁寧に細やかに実践されていることを分かりやすく講演いただいた。

母子保健との連携や学校現場との連携、保健所との連携、明石版こども食堂に代表される地域との連携など、児童相談所をこども家庭支援の拠点として位置づけ、各機関や地域の居場所の特性、機能、その役割や効果を認識し最大限に生かすため、明石こどもセンターが核となり顔の見える関係性を築き実践していた。

講演全体を通じ、これからの本県の取組活動に向けて、多くの示唆をいただいた。



## (3) テーマディスカッション「地域の連携 ～子どもと家庭を守るためにできること～」

講演①②の内容等について、参加者がより深く理解、咀嚼し、実践に繋げていくこと、さらに、立ち位置や役割の異なる参加者間で多様な視点や価値観、情熱等に触れ共有し、今後の活力に繋げていくことをねらいとして、グループ討議・情報交換を行った。

討議に入る前に、各講師から講演内容についてのコメントをいただき振り返りを行った後4～6人で一つのグループを作り、A～Oまでの15グループそれぞれで、自己紹介と3つのポイント（①講演の感想、②講師にお聞きしたいこと、③すぐできること・やりたいこと）を中心に意見交換を深めた。

和やかな雰囲気の中、各グループで活発な発言が飛び交い、グループ発表では、他のグループの話し合い内容を傾聴し、各自今後の取組に向けての参考とした。

最後に各講師から激励等の助言を賜り、終了した。

